

SDGs をアート作品にしよう

氏名： 船曳 妙子

学校名： 奈良市立青和小学校

担当教科： 図工科

実践教科： 図工科

時間数： 全 10 時間

対象学年： 4 年生

人数： 79 人

【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標（評価の観点を意識して設定）：

SDGs を達成するために子ども達の考える具体的な問題解決をポスター化して作品表現する。
作品作りの過程でリサイクル出来る物はリサイクルして行く。
ポスターを鑑賞しながら学び合う。

【2】 単元の評価 規準例	(ア) 知識・技能	SDGs ゴール達成に向けたポスターを世界の国々との繋がりを 持たせて、作品表現できる。
	(イ) 思考・判断・表現	自分や友達の作品の表現・技法を言語化して伝えられる。
	(ウ) 主体的に学習に取り 組む態度	リサイクル物を工夫して作品に融合できる。
【3】 単元設定の理由 ✓ 児童/生徒観 ✓ 教材観 ✓ 指導観 ✓ 設定時に想 定された児童・ 生徒の変容	<p>【単元設定の理由】</p> <p>SDGs ゴール目標について、環境やリサイクルの視点については、1 学期より子ども達に「おもしろダンボールボックス」や2 学期の「コロコロガーレ」等の授業を通じて啓発してきた。リサイクル×環境×アート作品制作の取り組みを、一時的なものではなく、今後の作品作りにおいても継続して行きたい。</p> <p>名画鑑賞や自分とクラスの友達の作品鑑賞は、1 学期より行って来たが、鑑賞会と言う形式では催した事がなかった。図工科の新指導要領においては、作品鑑賞における教育効果についても言及されている。自分や友達の作品について気付いた事について、言語活動を通して伝え合う力を育んで行きたい。</p> <p>【児童観】</p> <p>本クラスの子ども達は、図工授業において創作意欲が非常に高い。</p> <p>本学年の児童達が 3 年次には外国語及び書写学習指導で関わって来た。異文化理解については外国語指導においても行って来たが、今度は図工科の授業を通して国際理解の視点の導入を実現したい。</p> <p>【教材観】</p> <p>SDGs ゴールを画用紙作品に絵の具等を用いて表現して行く事を通して、教科を越えて社会的な物の見方を育成できる。</p> <p>ゴミ削減や SDGs ゴールを考えるために、小学校がアート作品や芸術作品制作を通じて出来る事の可能性を探究するに相応しい教材である。</p>	

<p>【指導観】</p> <p>図工科の視点では、子ども達の下絵へのフィードバックの過程において、自分達の身近な物や人達だけを図案化するのではなく、遠い国にいる人達や自然環境の事、普段接していない人達の事も考えて、絵に表現することで、子ども達のより広い視野で問題を考える力を育成できる。</p> <p>制作の過程で、絵の具の扱い方、リサイクル出来る物の図工作品への活用の仕方を考えられよう。</p> <p>●設定時に想定された児童の変容</p> <p>本授業を通して、子ども達は自分の身近な問題を世界全体、さらには地球規模で考える事ができるようになるであろう。</p> <p>自分の欲求のままに行動するのではなく、未来の事も考えながら行動するよう行動基準が変容して行くであろう。</p> <p>困っている人の立場で、より社会的問題を考察して行けるように、変化し続けて行くであろう。</p>			
【4】 展開計画 (全 10 時間)			
時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	○SDGs について知る。	○SDGs の歌を歌う。 ○環境破壊についてビデオ学習する。 ○SDGs についてパンフレットを見る。 ○世界の課題である「SDGs」について知る。	・テレビ ・SDGs ブック ・Chrom Book ・四つ切り画用紙 ・スケッチシート ・NHK「SDGs かるた」 ・JICA フォトランゲージ教材「世界の課題を考える」
2	○アイデアスケッチを書く。	○自分の関心のある SDGs テーマについて学習する。 ○NHK SDGs かるた作り特設サイトで自分の関心のあるテーマ動画を見たり、キーワード検索で画像イメージを参考にアレンジして行く。 ○イメージが表出しにくい児童に、JICA 教材やキーワード画像検索を手伝って見せて、写真からのイメージをフォトランゲージで広げて行く。	・テレビ ・SDGs ブック ・Chrom Book ・四つ切り画用紙 ・スケッチシート ・NHK「SDGs かるた」 ・JICA フォトランゲージ教材「世界の課題を考える」
3	○画用紙に下絵を描く。	○画用紙に表現したい事を下絵する。	・テレビ ・SDGs ブック ・Chrom Book ・四つ切り画用紙 ・スケッチシート
4	○絵の具で表現する。	○グラデーション・ぼかし・混色・重ね塗り等絵の具技法に気を付けて色付けする。	・絵の具
5	○スパッタリングや小道具を活用して色付けする。	○モダンテクニック・型の付く小道具を使って色付けする。	・スパッタリング教具
6.	○コンテで描く。	○コンテ・クレパスでふちどりする。	・コンテ

7	○リサイクル出来る物を活用しよう。	○接着剤を使ってリサイクル出来る物をコラージュして融合する。	・リサイクル用品 (リボン・新聞紙・ストロー・色紙・毛糸・はぎれ等)
8	○八切り画用紙を組み合わせる。	○四つ切り画用紙に八切りを組み合わせて変形させる。	・リサイクル用品 (リボン・新聞紙・ストロー・色紙・毛糸・はぎれ等)
9	○鑑賞会に向けて自分の作品の見てもらいたい所を言葉に表す。	○自分の作品の表現テーマ・創作の工夫を文章化する。	・240字詰め作文用紙
本時 10	○SDGs 作品鑑賞会をしよう。	○グループで作品を鑑賞し合う。	・付箋 (7 5 m m × 127mm)

【5】本時の展開

過程時間	学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (35分) 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs ソングを歌う。 ・目当てと活動手順の確認。 「SDGs 鑑賞会をしよう。」 「付箋には、お友達の作品の真似したい所・良い所を書こう。もし、もっとこうしたらさらに良くなるよ、というアドバイスもあれば書いて良いです。」 ・グループで発表する順番を決める。 ・教室の四つ角のブースで発表グループは、準備をする。 ・グループで最終の練習をする。 「タイマーが 5 分経ったら練習を止めて、本番を始めましょう。」 ・1グループが終わったら、交代して、発表と鑑賞を順番に行う。 ・早く終わった2ブースから順次グループの組み合わせを変えて、時間まで発表と鑑賞をし合う。 ・感想をシェアする。 「褒め褒め言葉、フワフワ言葉もらえて、お友達の作品の良い所探しよく頑張りました。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs パネルを鑑賞会の雰囲気盛り上げるため教室に並べる。 ・付箋は休み時間中に配布。 ・グループメンバーの構成に配慮して、1グループ 3~4 人のグループを 8 班作る。 ・コロナに配慮して空間を持たせて班で机を輪にして発表者は立って発表。 輪の中で発表しても良い。 ・発表者は赤帽、鑑賞者は白帽をかぶり、視覚的区別を付ける。 ・大きめの付箋を配り、付箋に発表者への感想を記述する。 ・5分経過後、ベルを鳴らし、練習と本場のメリハリを持たせる。 ・発表者の声が聞こえるように黙って聞くように注意する。 ・感想を聞いて嬉しかった事を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK SDGs ソング『色とりどり』 ・三菱アジア子ども絵日記フェスタ貸し出し用SDGs セットパネル 
(5分) まとめ			

【授業実践の様子】（本時での写真を添付し、キャプションをつけて下さい）



SDGs のゴールの作品（リサイクルに活用した物：ペットボトルキャップや新聞紙、ミシン糸の芯、レジ袋、お菓子袋、不要になったネット、プラスチックトレイ・紙皿、毛糸、ペットボトル等） / 鑑賞付箋 / 発表原稿 / 画用紙の表面や裏面にはテーマに合わせたキャッチフレーズを考えさせた。

【6】 本時の振り返り

道徳や国語科授業や教員研修で、扱う事のあった付箋を、図工の鑑賞指導に使用するのは、私は初めてだったが、発表後にすぐフィードバックをもらえた事が嬉しそうだった。

社会を見つめる目、世界を見つめる目が広がって、様々な SDGs のテーマで見合う事で学びの質が高まった。

【7】 単元を通した児童生徒の反応/変化

友達に付箋に良い所を書いてもらう事で、自尊心や自己肯定感を高める事が出来た。

作品を通して、友達と自分の作品の良い所探しが出来て良かった。

JICA 教材やフォトランゲージ用写真を個別にイメージ出来ない児童に安全な水、世界の飢餓の状況等を伝えるために、写真提示したら、なるほどと納得していた。

【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲があれば記載下さい】	
<p>始めは、自分目線で、自分の身の回りに日常よく目にする事象しか想像を巡らせる事が出来なかったが、繰り返し、「自分の身の周りだけでなく、海外や世界中の人達、動植物、食べ物にも目を向けよう、と声掛けして行く中で、国際理解、多文化共生を感じられる作品に仕上がった。</p> <p>NHK SDGs ソングを毎回、片付け時にかけていたため、リズムに合わせ、SDGs17 目標を歌いながら覚えられた。</p>	
【授業を通じた途上国・異文化・多文化共生等への意識の変容について記載下さい】	
<p>(授業前)</p> <p>児童は、人の絵を描く時も、自分の教室にいるお友達のような絵になりがちだった。食べ物についても普段よく口にしている物、動物や植物を描いてもよく見る日本の動植物が多かった。自分の生活圏が狭く限られているため、イマジネーションも限定されたものになりがちだった。</p> <p>(授業後)</p> <p>人の絵を描く際にも色々な人種の人達の肌色、髪色、目の色を描いたり、高齢の方、怪我や病気、障害のある方々と共生している絵を描けるようになった。</p> <p>海の色を塗る時には、日本に見ないような色の海の色や、環境問題を絵に表現するために、赤潮等の社会問題についても、表現描写出来るようになった。</p> <p>食品ロスの問題を取り扱い、食事の絵を描いた時、海外の食事についても考えたり、国外の生態系についてもイメージを思い巡らせるように変化し、成長を感じられた。</p>	

【8】自己評価

1. 苦労した点	<p>児童は SDGs について授業で初めて学ぶため、最初のアイデアスケッチで、イメージを膨らませ辛く、単元の当初は作品のイメージ図案スケッチに時間を要する児童が少なからずいた。</p> <p>リサイクル品を作品に融合して行く発想が、ひらめきにくい児童も少なくなかった。</p>
2. 改善点	<p>SDGs を図工科で立体表現の作品にするなら、どのように進めて行くか、またどのようなリサイクルツールを用いるかについても、今後の研究課題である。</p> <p>発表の原稿を画用紙作品の裏に貼らせたが、次の発表者に絵を持って、みんなに見せてもらい、発表当事者は作文用紙のみを持たせて読ました方が、作品が鑑賞しやすく良かった。</p> <p>付箋を画用紙裏に貼り付けたが、すぐはがれやすいため、別途糊付けさせた方が返却時の付箋回収が容易である。</p>
3. 成果が出た点	<p>身の回りにある廃棄物を図工作品に活かして行くという楽しさを児童自身が発見して、発想力豊かに工夫する事が出来た。</p> <p>他の児童の発表を最終授業で聞き合う言語活動を生かして、友達の SDGs テーマにも関心を高められた。</p> <p>子ども達は作品鑑賞の時間を通して、クラスメイトとのコミュニケーション力を高められた。</p>
4. 備考（授業者による自記述）	<p>図工科の中で国際理解に関わる事、多文化共生について考えられる機会を持って、児童のイマジネーションが豊かになった変容ぶりを目の当たりに出来て、良かった。</p> <p>SDGs について、身近な事から世界中に想いを馳せて考えてもらう事が出来て、嬉しい。</p> <p>JICA 教材 SDGs ブックカバーを 3 学期に配布し、年間を通して継続的に SDGs への意識を浸透させて行きたい。</p>

添付資料：

- ・NHK「みんなでつくろう SDGs かるた ひろがれ！色とりどり」
- ・NHK SDGs のうた「いろとりどり」
- ・作：ジョージナ・スティーブンス 岩崎書店 2020
『ステラとカモメとプラスチック うみべのおそうじパーティー』
- ・三菱アジア子ども絵日記フェスタ貸し出し用 SDGs セットパネル
- ・Dolphins&Oceans YouTube
「海洋プラスチックごみ問題について、イルカくんが教えてくれた」

参考資料：

- 「未来の授業 SDGs ライフキャリア BOOK」
(佐藤真久, 宣伝会議, 2020)
- 「やさしい英語で SDGs !
地球の課題(global issues)を英語で学び、未来を語ろう！」
(本間正人 山本ミッシュールのぞみ, 合同出版, 2021)
- 「CLIL 英語で考える SDGs 持続可能な開発目標」
(Shigeru Sasajima 他, SANSHUSHA)
- 「WE HAVE A DREAM 201 countries 201 dreams
with sustainable development goals」
(WORLD DREAM PROJECT, IROHA PUBLISHING, 2021)
- 「HOW TO SAVE YOUR PLANET ONE OBJECT AT A TIME」
(DR TARA SHINE, Simon&Schuster UK, 2020)
- ・『わたしたちがつくる未来 SDGsSTART BOOK 持続可能な開発目標』東京書籍株式会社